

佐伯発、**粋**で元気な
企業と働く人々をご紹介

イキな佐伯の ヒトと企業

Vol. 35

さよ ともり
小夜 智徳さん
入社1年半
佐伯第二工場 水産加工部

みぞはま ゆういちろう
溝濱 裕一郎さん
入社18年
佐伯第二工場 工場長

たかはし しんじ
高橋 慎治さん
入社9年
佐伯第二工場 水産加工部リーダー

なかた みか
中田 美加さん
入社3か月
佐伯第二工場 水産加工部



▲こちらから動画が
ご覧になれます。

今回は

佐伯が誇る豊かな食文化を
後世へつなぐ

「山田水産株式会社」

蒲江に新工場設立！ 地域を支える力に

九州、宮城に拠点を構える

当社は昭和48年の創業以来、モノづくりへの情熱を原動力に、養殖魚の餌となる餌料じりょうの製造、シシャモの加工、日本初の完全無投薬を実現したウナギ養殖など徐々に事業を拡大。現在は佐伯、鹿児島、宮崎、宮城に拠点を設けています。

― 地元の養殖業者を支えたい

今年1月に蒲江に新設した佐伯第二工場には凍結事業部と水産加工部があります。凍結事業部の主な業務は餌料の製造。佐伯市近郊で水揚げされた魚を、缶詰原料・輸出用・養殖魚餌用に選別、急速冷凍処理を施し、養殖業者に提供しています。モツ

トーは「質の良い餌を安定して供給する」。昨年から円安、それにもなう魚の輸出量増加の煽りを受け、餌料不足・高騰が続いています。養殖業が盛んな佐伯。頭を抱えている業者の力に少しでもなれるよう頑張っています。加工部では今後プリの

ファイル加工※1を主に行う予定です。九州各地で水揚げされた天然プリをファイル加工します。将来的には地元で育った魚を地元で加工して全国へ。そんな良い循環をつくれたら嬉しいですね。

― 共に働く仲間を募集

◎ 資格取得などしっかりとバックアップがあるので、目標を持って成長できます。新工場はまだ募集集中。興味がある人はぜひ見学へ来てください！

◎ 加工部は女性も多く活躍している部署です。新しい工場です。みなで和気あいあいと作業しています。今は機械化が進み、昔のような重労働はありません。いろいろなことに挑戦させてもらえる職場なので、やりがいも大きいです。

◎ 先輩たちが色んなことに気付きフォローしてくれます。休みも充実していて趣味のボウリングの時間もたっぷりあります。◎ とにかくスタッフの人柄がいい！みんな大好きです。工場が新しく、作業場や休憩室がきれいなのも高ポイントです。

※1 魚を二枚におろす加工

山田水産株式会社

【佐伯第二工場】佐伯市蒲江大字森崎浦1785-5
☎44-5500 FAX44-5005 <https://yamadasuisan.com>

設立年月(本社)：昭和48年9月 資本金：2億9,450万円 売上高：156億(令和4年5月期) 従業員数：415人(令和4年8月現在)

